

人と、街との
ベストコミュニケーション
地域見つめる……共通商品券

- ◆いつでもどこでも使える
便利な商品券
- ◆贈って喜ばれ、使って便
利な商品券をご利用くだ
さい!

にほんまつ

2014 9月号

会議所ニュース

編集発行所
二本松商工会議所

〒964-8577
福島県二本松市本町一丁目60-1
TEL(0243)23-3211
FAX(0243)23-6677
E-mail:ncci@nihonmatsu-cci.or.jp
URL:http://www.nihonmatsu-cci.or.jp



▲ふじのみさ歌謡ショー



▲魅惑のフラダンス

八月十一日には、本町商店街開発協議会(本田慎一委員長)主催による『もともち歩行者天国』が本町通りで開催された。本町の駅前・上口・親交・中央・銀座の四商店会が本町通りの各所で屋台村を開設した他、バルーンアートショーやおんつあんバンド、字本町若連会による祭囃子披露等様々な催し物が本町通りを活気づけた。

二本松市商店街連合会夏まつり実行委員会(杉山進委員長)主催による第四十二回『二本松の夏まつり』は、今年も市内商店会単位で開催され、賑いをみせた。八月二日には、若宮振興会(松坂壽夫会長)主催による『若宮夏まつり』が若宮通りで開催された。特設ステージでのフラダンスショーやふじのみさ歌謡ショーの他、子供広場、うまいもの広場が設置された。夏まつり最後には、恒例の豪華景品が当たる大抽選会が行われ、多くの市民で賑いを見せた。



▲大勢でにぎわったビンゴ大会



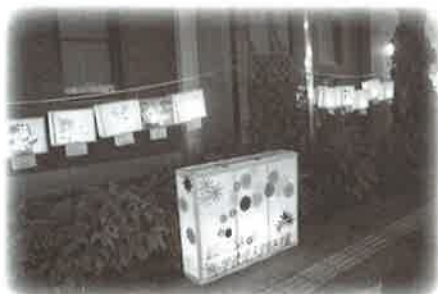
▲めがね大使「キューティパイ」のミニコンサート



▲今年もやります!おやじバンド



◆子供達の集中度は100%



◀ あんどんの幻想的な調べ ▶



二本松の夏まつり

多彩なイベントで賑わう

また、同じく本町通り内において、東京電力福島第一原発事故により当地に避難されている浪江町の皆さんによる『なみえの盆踊り』が開催され、参加者を対象にグルジア国から提供されたワインやヨーグルトの振る舞いや、「きてほしい浪江Tシャツ」販売などが行われた。

一方、竹田・根崎通りは八月十一日・十二日の二日間、恒例の『花市』が盛大に行われた。竹田共栄会(松本博会長)による『竹田の花市』では、竹田若連会による祭囃子披露や山木屋太鼓など賑やかな内容で来客者を楽しませた。

また、根崎商店会(菱沼清寿会長)による『根崎の夏まつり』では、東北サファリパークのさる劇場やベアリダンス、おやじバンドが登場した他、根崎若連会による祭囃子が披露されるなど大盛況であった。

福島県産業復興相談センターについて

「福島県産業復興相談センター」は、東日本大震災により経営に支障を生じた事業者様の事業の再開や再生を支援するために設置された公正中立な公的機関です。(公益財団法人福島県産業復興センターが国からの委託を受けて設置。)

具体的な支援内容

① 経営相談

面談やご提出頂いた資料等を通して、震災による影響や経営上の問題点、具体的な課題の把握を行います。

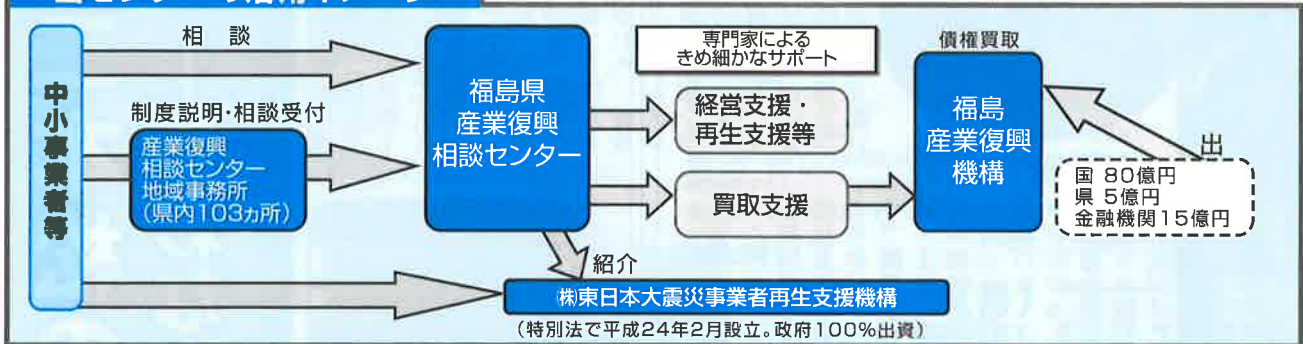
② 専門家による経営支援

専門家が課題解決に向けて、きめ細かなサポートを実施し、経営改善・事業計画策定に向けたアドバイス等を行います。

③ 債権買取支援

二重債務問題に対応するため、必要に応じて、福島産業復興機構に対し金融機関等の債権買取(震災前借入)の要請を行います。また、福島産業復興機構と同じく債権買取機関である(株)東日本大震災事業者再生支援機構への紹介を行います。

当センターの活用イメージ



こんな悩みありませんか!!

- ✓ 東日本大震災の影響により、震災前借入金の返済が困難になっている。
- ✓ 現在は売上減少しているため東電賠償金を受領しているが、支給が減額又はストップとなれば資金繰りは困窮してしまう。
- ✓ 事業の再開するために新規借入が必要だが返済が不安である。
- ✓ 条件変更はしているが更なる変更はできないか。

☎ ☎ このような悩みでお困りの方は今すぐ下記へご相談を! ☎ ☎

【連絡先】福島県産業復興相談センター 電話:024-573-2561 FAX:024-573-2566
〒960-8034 福島市置賜町1-29 佐平ビル9階
相談センター担当:熊田、松本 または、最寄りの商工会議所経営指導員

山形デスティネーションキャンペーンを視察

～来年のふくしまDCを成功させよう!

山形では、九月十三日、県と地元自治体、観光事業者等とJRRグループが連携し、「山形デスティネーションキャンペーン」(DC)が開催されている。

二本松おもてなし隊は、来年の福島DC本番に向けて、八月十九日、新野市長ら関係団体から四十人が参加して視察研修を実施した。

山形のキャッチコピーは、「山形日和」です。自然や文化、食、温泉、豊かな人情など、さまざまな魅力あふれる山形は、いつどこを訪れても「旅日和」。山形の魅力を楽しむことのできる体験型・滞在型の旅を提案している。

一行は、訪問先の米沢駅、赤湯駅の各駅長から、キャンペーンの取組みについて説明を受けました。県内温泉を巡る旅。自然に恵まれた食彩王国を味わう旅。みちのくを往く観光めぐり、臨時列車の運行、心ふれるおもてなし、宣伝方法など、詳しく取組の話を聞いた。



また、米沢市小野川温泉の「田んぼアート」、高島町の「昭和縁結び商店街」、南陽市の「大浦ぶどう酒」も視察しました。特に、昭和縁結び商店街は、昭和の時代にタイムスリップしたかのような雰囲気のある商店街で、会長さんら関係者の説明も面白く抱腹絶倒の楽しい街めぐりで、心からのおもてなしを感じることができた。

▶ 熱心に説明を聞き入る二本松おもてなし隊の面々。



高橋進の経済ナビ

「たかが観光、されど観光 ―観光は地域再生の切り札―」

訪 日外国人旅行者数は昨年初めて1000万を超えた。

そして、今年はそれをさらに上回るペースで推移している。政府は東京オリンピック・パラリンピックを開催する2020年には、訪日外国人旅行者数を2000万とする目標を掲げているが、その達成も決して夢ではなく、なってきたといえよう。

こ こにきて外国人旅行者が増えている背景としては、円安傾向の継続に加え、タイやマレーシアなど東南アジア諸国向けビザの発給要件が大幅に緩和されたこと、航空路線のアクセスが改善されたことなどが挙げられる。しかし、増加要因はこのような短期的なものだけではない。日本がデフレで苦しんでいる間に、アジア各国は経済発展を遂げ、アジアの人々の所得水準が上昇していることも、日

本に向けた海外旅行が増加している理由である。

訪 日外国人観光客の増加は、当然日本経済を潤す。観光

産業は小売りから交通、宿泊、飲食まで裾野が広く、経済波及効果が大きい。今年は消費税の引き上げによる個人消費の落ち込みが懸念されているが、訪日外国人の旺盛な消費意欲がこの落ち込みをカバーしているともいわれる。政府も今年10月から、消費税の免税対象を食品や酒、化粧品などにも広げるとい

さ らに、観光は地方再生の面からも期待が大きい。経済波及効果が大きいことから、人口減少や経済の低迷に悩む地方にとって、域内への観光客誘導は、最優先すべき政策課題の一つである。地方でどれだけ農林水産業の6次産業化などを図つ

ても、販路が域内に限られていたのでは持続的な振興は難しい。観光は域外消費を域内化するものとして欠かせない産業なのである。

し かしながら、観光を地方再生に生かすといっても課題は多い。訪日外国人の多くは東京や京都などに集中している。東京あるいは大阪を玄関にして来日し、どちらかから出国する、いわゆるゴールデンルートを通る旅行者が800万人に達するのに対し、地方に足を延ばす外国人はそう多いとはいえない。北海道などは外国人の呼び込み

に成功しているといわれるが、それでも100万人程度である。

も ちろん100万人という規模は北海道にとって大きな数字である。しかし、訪日客2000万人という目標は、より

多くの国から旅行者を呼び込むだけでなく、日本の「おもてなし」を体験した外国人旅行者がリピーターとなって、より深く日本の魅力を知ろうとしてゴールデンルートを飛び出し、地方に足を延ばすようになってこそ達成できるものである。

外 国人旅行者の地方への誘致拡大に向けて、国の環境整備も欠かせない。しかし、同時に問われるのは、外国人観光客を呼び込み、満足させるための、

地方や民間の自助努力である。個人旅行が多くなるリピーターにとって最大の壁は言葉だ。交通機関や観光施設などの標記を英語など多言語化することはもちろんであるが、地域の歴史、風習、イベントの由来などを含め、外国語で地域の魅力を説明できる語部が必要である。語部がなければ、外国人の日本体験も参加型になり、より深いものになるだろう。しかし、今はそうしたサービスを提供できる地域・業者は限られている。

ま た、ターゲットの絞り込みも欠かせない。北海道や沖縄など外国人誘致で成果を上げている地域には独自の物語がある。「雪の北海道」は冬のない東南アジアや、スキーを楽しむ豪州の旅行者向けストーリーである。ただし、それは地元の人や日本人がつくるとは限らない。むしろ、外国人の目を通して地元の魅力が再発見されるケースも多々ある。地方には、ローカルな魅力を、独りよがりではないグローバルな視点で発掘し、磨き、提供するといった柔軟性と自助努力が求められているだろう。

日本総合研究所
理事長 高橋 進

まつしん年金友の会・まつしんレディースクラブ共同企画

創立100周年 **宝塚歌劇**と**東京湾クルーズ**の旅

旅行日時	平成26年	日程	24日(月)まつしん各支店⇒銀座【中華ランチ】⇒皇居東御苑散策⇒宝塚東京劇場【9席】演目:ミュージカル『PUCK(バック)』⇒竹芝港～東京湾ディナークルーズ【夕食】⇒竹芝港⇒ホテル
	11月24日(月)～25日(火)		25日(火)ホテル⇒海ほたる【自由散策】⇒NHKスタジオパーク⇒池袋【懐石ランチ】⇒まつしん各支店

旅行代金 **53,000円**

募集期間:平成26年9月8日～平成26年10月17日 催行予定人数:80名

旅行企画業者:JTB東北法人営業福島支店

くわしくは、各営業店窓口までお問い合わせください。
ナイスコミュニケーション

二本松信用金庫

予告案内

消費税転嫁対策窓口相談等事業

創立45周年記念事業

二本松商工会議所 会員交流会



二本松商工会議所は、昭和44年に設立されて以来、本年創立45周年という記念すべき節目の年を迎えることができました。会員各位のご支援・ご協力に対して感謝・御礼を申し上げます。

さて、当所では会員事業所間相互の交流や情報交換・取引拡大など新たなビジネスチャンスにつながる機会として、今年度も『会員交流会』を開催致します。是非共々参加下さい。

日時: 10月24日(金) 15:00~

会場: ウェディングパレスかねすい (向作田 18-11 TEL23-3000)

参加金: 交流懇親会費お1人2,000円 ※基調講演のみ参加の方は無料

自社PRをご希望の方で、配布したい資料等がある場合は事前に事務局までお届け下さい。

お申込み お問い合わせ先 **二本松商工会議所 中小企業相談所** TEL23-3211 FAX23-6677 ncci@nihonmatsu-cci.or.jp

プログラム

第I部 基調講演 (15:00~16:30)

演題 歴史で地域活性化「日本を元気に」

講師 早坂知佐氏 (歴史プロデューサー)

第II部 交流懇親会 (16:40~18:00)

- 自社PRタイム →自社で開発した商品をPRしたい
- お楽しみ抽選会 [創立45周年]
 - 二本松市共通商品券 10,000円×3本
 - 二本松市共通商品券 5,000円×3本
 ほか豪華景品をご用意しております。

元刑事が教える人を見抜くテクニック!

経営力強化、増税後の商談・交渉に役立つ

消費者心理の見抜き方

~取り調べ体験から得た信頼関係の築き方~

★取引の現場、説得・交渉の際に必ず役に立ちます!

相手の言葉や人間性を簡単に信じてしまい取引を後悔したことはありませんか? 本講座では営業の現場において、相手が本当に信頼に値するかどうか、ウソをついていないかどうか確認する手法を、人間心理やしぐさを通して元刑事の講師がお話しいたします。多くの人と接する機会が多い、営業マンには是非おススメの講座です。是非、ご参加ください。

講座内容

- そもそも“ウソ”ってなに? ●表情やしぐさで心理を見抜く
- 質問方法でウソを見抜く ●証拠を提示してウソを見抜く
- 取り調べ現場でウソを見抜いた経験談
- 詐欺をする人・・・その特徴とは
- 信頼されるために注意するポイント

【講師】 もり ゆきまさ **森 透 氏**

【開催日時】 10月20日(月) 14:00~16:00

【会場】 二本松商工会議所 会議室

【受講料】 無料

【主催】 二本松商工会議所 中小企業相談所

●前 Clearwoods 代表取締役 究極のコミュニケーションコンサルタント 警察の元捜査官。知能・経済・政治犯担当の刑事を約20年経験。遊学違反、贈収賄、大型詐欺、横領、殺人事件など多種多様な事件捜査に従事し、預金保険機構への出向時には金融整理管財人として破綻した金融機関の調査にも従事。東日本大震災では福島県に派遣され、行方不明者の捜索活動に従事した。独立起業後はその経験を活かしたセミナーを開催し、安心・安全にビジネスを発展させることをミッションに活動している。

函館YEG来所

北海道新幹線開通PR



▲2016年3月に北海道新幹線開通予定の外崎副会長ら4名が当所青年部を訪問

福島大学の学生と懇談

福島大学経済経営学類の西川和明教授と学生十名が、八月二十日來所し、当所の安齋専務理事らと中山間地と都市部の連携・振興の方策、大都市にない地方都市の特殊性の活用等について、情報交換を行った。

西川教授は、少子高齢化が進み人口減少が進行する地方都市でのコンパクトシティの必然性、農業を資源とした産業の創出に活路があるのではと指摘し、学生からも活発な意見が出され、お互いに有意義な懇談の機会となった。

▲熱心に聞き入る福大西川ゼミメンバー

中小企業と納税者国民の強い味方!! JPA総研「よろず相談所」

お気軽に何でもご相談下さい!!【守秘義務を厳守】 TV相談システムを導入しました。

※弁護士・税理士・経営士・社労士・行政書士が取り組んでいます。

今!! 東日本大震災福島原発被害者の救済に全力投球中です。

JPA総研グループ 日本パートナー 税理士法人 社労士法人 行政書士法人 会計事務所

東北本部 二本松支社: 福島県二本松市大壇148 TEL 0243-24-1351 FAX 0243-24-1352

編集後記

日ごとに涼しくなってきました。スジシマカに都会ではヒートアイランド現象が顕著で、暑い日が続いています。この時期は、お天気がよく、お出かけがしやすいですね。この時期は、お天気がよく、お出かけがしやすいですね。

読者の皆様、お読みいただきありがとうございます。お読みいただきありがとうございます。

社の中の斎場

ほうりん

ヨサン イイクー

0120-43-1194

- 年中無休
- 24時間受付
- 大駐車場完備

ほうりん二本松斎場
ほうりん法要ホール
二本松市上竹2-286-1
TEL.0243-23-5520 FAX.0243-22-7377

ほうりん東和斎場
二本松市針道字殿治屋敷15

ほうりん大山斎場
大玉村大字玉貫19

ほうりん福島平野斎場
福島市飯坂町平野字大前田1-4
TEL.024-542-6444 FAX.024-542-4960